

八地申
第7号
10月6日
提出！

石和温泉駅の駅業務全般委託 に関する解明申し入れ

八王子支社より7月15日に「2020年度営業関係施策について」の提案を受けました。2019年ダイヤ改正であずさ号の峡東3駅通過による自治体からの反対要請を受け2020年には元に戻した経緯もあることを見ても地域や自治体との共生を果たしているのか甚だ疑問であり今回の石和温泉駅の駅業務全般委託を行なうことで地域を活性化していくという駅の使命がどのように果たされるのか、またどのように安全レベル・サービスレベルを低下させることなく駅の使命を果たすのか、労使で認識を一致させなくてはなりません。これまで委託された駅では、労働環境や要員・教育・訓練について多くの課題が職場の声として上がっています。安全第一の駅を目指すために、技術継承・技能伝承ができる駅業務を担う人材の確保を行ない、その駅のプロを育成していくことが快適な輸送サービスの提供につながります。安全・健康・ゆとり・働きがいの持てる職場を構築していくために、下記の通り申し入れを行いました。

1. 石和温泉駅の駅業務全般委託を行なう目的と根拠を明らかにすること。
2. 石和温泉駅の現在の体制と駅業務全般委託後の体制を明らかにすること。
3. レイアウト変更や現金取り扱い機器、バックヤード整備について明らかにすること。
4. 施策実施に伴う出向や異動の考え方を明らかにすること。
5. 駅業務全般委託にあたり、管理駅の体制と管理駅及び非管理駅との連携について明らかにすること。
6. 駅業務全般委託について関係自治体・利用するお客さまへの周知はどのようにするのか明らかにすること。
7. 管理駅となる甲府駅の管理体制の強化について考えを明らかにすること。

**駅業務全般委託により安全・サービスレベルの
低下が無いよう、交渉に臨んでいきます！**



申7号 石和温泉駅の駅業務全般委託に関する解明申し入れ 団体交渉を行なう！(11月19日)

その1

1、石和温泉駅の駅業務全般委託を行なう目的と根拠を明らかにすること。

【会社回答】

駅の業務委託については、エルダー社員の雇用の場における選択肢の拡大を前提としつつも、「当社を取り巻く環境の変化」「駅の要員事情」「駅業務を担う人材の育成」を踏まえて進めていく考えである。

(組合)業務委託を行なう目的はエルダー雇用の場の拡大でよいのか。

(会社)エルダー雇用の場を前提としつつも環境の変化、要員事情、人材育成の観点もある。

(組合)目的と根拠のエルダー雇用と環境の変化は同列か。

(会社)全てを網羅しなくてはならない。生産年齢人口の減少なども踏まえていく。

(組合)環境の変化によって委託するメリット、デメリットは。

(会社)目的に沿って委託を遂行していく。JESSの規模、体力は培っていて働く人のスキルアップにつながる。

(組合)石和温泉駅は観光地である。本体としての考え方は。

(会社)観光メインであり他の駅とは一線を画す。駅の特情に合わせて行くことが必要。

(組合)要員事情とは

(会社)社員数は減っている。減った部分を委託ということではない。採用も行い、生産性向上などカバーしている。

(組合)石和温泉駅委託の理由は。

(会社)運転取扱いが無い駅は基本的に対象となる。環境拠点でありJESSのフラッグシップ駅を目指したい。

2、石和温泉駅の現在の体制と駅業務全般委託後の体制を明らかにすること。

【会社回答】

グループ会社の運営体制は、グループ会社において決定することとなる。

(組合)現在の体制は。

(会社)2徹2日勤、日勤は駅長と助役、助勤は4人で標準数に入っていない。現在員数は10名。

(組合)窓口の営業時間、発見枚数は。

(会社)7:00~19:00、コロナ禍で現在は7:00~18:00、発券枚数280/日。

(組合)窓口が残る理由は。

(会社)観光の拠点、ニーズやご利用状況で判断している。

(組合)駅業務全般とは何を指すのか。

(会社)運転取扱以外の業務。出札、改札、車イス、遺失等。

(組合)委託後の業務量の変化は。

(会社)石和温泉での業務量の変化はないと考える。

(組合)遠隔操作システムの考え方は。

(会社)要員事情やコストなどを見て現時点で導入の考えはない。

(組合)甲府駅は助勤のための要員を配置しているが甲府駅の標準数変更はあるのか。

(会社)本施策での変更はない。

(組合)委託後の標準数の考え方は。

(会社)体制はJESSで決定していく。履行確認はしっかり行っていく。

「委託して終わりではない」

「委託契約が履行されているかの確認を行っていく」ことは認識一致。

その2へ続く



申7号 石和温泉駅の駅業務全般委託に関する解明申し入れ 団体交渉を行なう！(11月19日)

その2

3、レイアウト変更や現金取り扱い機器、バックヤード整備について 明らかにすること。

【会社回答】

必要に応じて整備していく。

(組合)現時点で考えていることはあるのか。

(会社)駅舎も新しく改良するところはないと考える。現場で使いやすく変更することはある。

(組合)女性設備の整備は。

(会社)今回は行わないが活躍推進もあり必要性は感じている。

(組合)機器類は。

(会社)MV2台、EM20、EV20、EX10各1台ずつ、MVはラッチ外。

(組合)職場からの声はあるのか。

(会社)現行はない。改めて聞く場を設けるのではなく管理者が日々継続的に聞いていく。

(組合)JESSの間内改良フローはあるのか。

(会社)フローはない。年に一回要望を聞く機会がある。施設管理権は本体にある

駅舎工事の必要性はないと発言！

一方、管区制のJESSではそれぞれの駅において資料等が統一されていない
現実もある。働きやすい職場環境を創り出すため議論を深めよう！

4、施策実施に伴う出向や異動の考え方を明らかにすること。

【会社回答】

就業規則に則り、取り扱うこととなる。

(組合)出向や異動の判断材料は。

(会社)任用の基準、就業規則27条、28条。

(組合)出向はあり得るのか。

(会社)出向はあり得る。

(組合)社員説明は行ったのか。

(会社)施策の内容は周知している。4月1日の施策実施に向けしっかり準備している。

(組合)JESSからの逆出向はあるのか。

(会社)異動の話とは別で、スムーズに移管するために一ヵ月程度見習いをしている実態はある。

(組合)面談はやるのか。

(会社)自己申告の面談の中でやっている。日頃のコミュニケーション等でしっかり把握していくことが必要。

(組合)体制の話になるが管理者の体制は。

(会社)具体的な内容は差し控えるが、特情や自治体、観光協会とのつながりがあり、そこは意識していく必要はある。

(組合)現場実態として厳しい勤務になったことがある事は聞いている。

(会社)現時点の話として言われたことを否定はしないが、投げかけは必要と考える。

その3へ続く



申7号 石和温泉駅の駅業務全般委託に関する解明申し入れ 団体交渉を行なう！(11月19日)

その3

5、駅業務委託全般委託にあたり、管理駅の体制と 管理駅及び被管理駅との連携について明らかにすること。

【会社回答】

業務実態等に踏まえて被管理駅を管理する管理駅を指定している。

(組合) 石和温泉駅の被管理駅である春日居町駅は、委託後の管理駅はどこになるのか。春日居町駅の上りホームに設置している券売機は撤去するのか。

(会社) 甲府駅が管理駅となる。噂レベルの話であって、この場で申し上げ兼ねる。

(組合) 管理駅と被管理駅の連携はどのようにするのか。

(会社) 施設管理や異常時にはフォローに行くことはありえる。曜日や時間帯によっては地区センターや塩山駅、支社が対応することもあり得る。

(組合) 春日居町駅の遠隔での放送システムは石和温泉駅にて行なっているが、委託後は設備を甲府駅へ移設するのか。

(会社) 放送設備は必ずマストではないので検討している。

(組合) 除草作業についての考えを示すこと。

(会社) 従来の考え方と変わらず、管理駅の甲府駅が行なうこととなるが、除草の問題を野放しにするつもりはない。シートを敷くなど対策ができるのなら、検討していきたい。

(組合) 委託後に石和温泉駅にて人身事故が発生した際の現地責任者は、誰が行なうのか。

(会社) 泊まりの駅務責任者が配置されないで、石和温泉駅では現地責任者を担えない。

6、駅業務全般委託について関係自治体・利用するお客さまへの周知はどのようにするのか明らかにすること。

【会社回答】

必要な周知は実施していく。

(組合) 必要な周知は実施とあるが、どのようにおこなったのか。

(会社) 提案後、関係自治体や観光協会、旅連に説明しており、再度丁寧に説明を行なっていく。お客さまには、周知を考えていない。委託後も、どうやって地元を盛り上げるのか、引き続き連携を求められている。管理駅長が関係の構築は引き続き行っていく。

(組合) 石和温泉駅は観光に関わる特情を持っているが、仕入れや観光開発はVTSも関わっていくのか。

(会社) 仕入れは、VTSがしっかりやっていく。観光開発は支社の販売促進課と連携し対応していく。

7、管理駅となる甲府駅の管理体制の強化について考えを明らかにすること。

【会社回答】

現行の体制で対応可能と考えているが、施策実施後も状況を見極めていく考えである。

(組合) 本施策により、甲府駅の体制見直しを行なうのか。

(会社) 現行の体制で対応可能である。

(組合) 対応可能な根拠は何か。

(会社) 業務量は増加するが、現在員の体制で吸収できる。施策実施後は、ご利用状況、被管理駅が1駅から5駅になり一定程度管理駅としての業務量は増えることを見ていく必要がある。

(組合) 社用車は増備するのか。

(会社) 地区センター含め複数台あり、甲府エリアを機動的に見れるようにしている。

**観光拠点の石和温泉駅業務委託は万全の体制で行わなければならない！
効率化のみだけでなく、地域社会の発展に貢献する施策にしていこう！**